

蒲町中

被災者を応援 福幸玉作り



これがイチオシ

福呼ぶ？ 謎のフクロウ

蒲町中学校の校庭のバックネット裏には木彫りのフクロウがいます。名前は「蒲の神 福福」。2020年11月18日、校庭の周りの木を剪定するために来た業者の方が、休憩中にチェーンソーカービングという技法で、剪定中の木に彫ってくださったそうです。

名前は全校生徒に募集しました。福福について、生徒からは「かわいい」「暗いときは結構怖いかも」という声が聞かれました。校庭の隅から私たちが見守ってくれる福福を、これからも大切にしていきたいです。

学校名 仙台市立蒲町中学校
所在地 仙台市若林区蒲町9の1
創立 1979年
電話 022(285)6521
校長 飯淵 優
生徒 610人

蒲町中学校では毎年行っていた学習発表会を昨年度から「蒲中祭」と名称を改め、新たな伝統をつくるため、実行委員を中心にさまざまな企画を考え、実現しています。例えば、全校制作として前々年度はシトラスリボン、昨年度は福幸玉を作りました。前々年度は医療従事者の方々への感謝や励まし、の気持ち、昨年度は被災者の方々への応援の気持ちや復興を願う気持ちを込めて一生懸命、生徒同士で教え合

いながら進めました。コロナウイルスへの感染対策のためにリモートでできる催しも企画されました。動画を集めたところ、立ち上がった有志がラップやギターなどの動画を投稿し蒲中全体を盛り上げました。さらにデジタル展示では、各教科の授業で作った文章や野外活動のまとめなども展示されました。それは、蒲中生の今までの学習の成果が、蒲中祭専用のホームページを通して見られるものでした。生徒たちは、製作したものをお互いに見合



福幸玉を製作する生徒

編集委員 岡元涼聖(3年) 橋浦由奈、小野雄貴、許庭瑗、阿部快生、八島凜乃(2年) 指導教員 大学友紀乃、安達亮太

「蒲中祭」新たな伝統に

わが校わがまち スクール通信



次回は 利府二小(利府町) 向陽台中(仙台市)

迫力のある踊り 誇らしく

石越小



これがイチオシ

地域の方との体験 貴重

石越小学校では、地域の方にボランティアとして来ていただき、たくさんの活動をしています。放課後クラブとして、「習字クラブ」や「生け花教室」、伝統芸能の鳥舞を踊ったり、運動したりする「鳥舞・スポーツクラブ」があります。他にも読み聞かせや、ヤーコンの植え付けや収穫のお手伝いをしていただいたりしています。

貴重な体験をさせていただいている地域の方に感謝し、教えていただいたことを学習や生活、行事で発揮できるようにしていきたいと思います。

学校名 登米市立石越小学校
所在地 登米市石越町北郷長根134
創立 1873年
電話 0228(34)2012
校長 千葉 和幸
児童 177人

「鳥舞」神楽伝統つなぐ

石越小学校では、4年生の3学期になると、「鳥舞」という神楽を踊ります。鳥舞とは、石越町に伝わる伝統芸能です。大昔から伝えられている神話によると、太陽の神、天照大御神が岩の中に隠れ、世界が暗闇になってしまいました。困った神々は、天照大御神を外に連れ出すと、暗やみの世界に明るい太陽の光が差し込み、ニワトリたちがいっせいに喜びの声を上げ、舞い狂ったことから鳥舞が始まったとされています。私たちは、長下田神

樂保存会の佐々木忠雄さんに踊りを教えていただき、運動会の前に練習をします。学校の運動会や石越地区市民体育祭で、長下田神楽保存会の皆さんに協力していただき、舞を披露します。本番で、はかまとかぶとを付け、御へい束とせんすを持って踊る鳥舞はとても迫力があります。鳥舞は私たち石越小にとって、ずっと受け継がれてきた大切なものです。これからも素晴らしい伝統芸能を教わり続け、ふるさと石越に誇りを持っていきたいです。



鳥舞を踊る子供たち

編集委員 阿部勇希(6年) 三浦伶実(6年) 指導教員 菅原裕太